

人物文献目録

2023-2025

Ⅱ 外国人編

凡 例

1. 収録期間と範囲

2023年1月～2025年12月に刊行された図書・雑誌から、外国人6,899人に関する人物文献（伝記・日記・回想・人物論・年譜・著作リスト・書誌等）15,856点を収録した。

2. 見出し語

- (1) 漢字圏の東洋人は原則漢字表記とし（但し、片かな表記が一般的な人物を除く）、それ以外の外国人は姓の片かな表記とした。いずれも本姓名によったが、通称・別称等が一般的と思われるものはそれを採用した。
- (2) 韓国・朝鮮人名の読みは可能な限り民族読みとした。
- (3) 各種人名辞典などの参考資料で原綴を確認できた西洋人名には、原綴を付した。
- (4) 人名見出し以外に一般に通称化した集団・血族名（例：ハプスブルク家）なども、見出し語として採用した。
- (5) 検索の便を図るため、適宜参照を用いた。
- (6) 巻末に原綴索引を付したので、片かな表記が不明な場合にはこちらを参照されたい。
- (7) 漢字は原則常用漢字・新字とした。

3. 見出しの排列

- (1) 見出し語の読みの五十音順とした。その際、姓名の読みを一単位として排列した。
- (2) 濁音・半濁音は清音扱いとし、ヂ→シ、ヅ→スとした。拗音・促音は直音扱い、長音符（音引き）は無視した。
- (3) 姓名などで同一排列順位となる場合は、その見出し語に使用されている文字の、片かな、平がな、漢字の順とした。
- (4) 世系などがある場合は必要に応じて補記した。

4. 文献の排列と記載の形式

(1) 排列

見出し語のもとに、図書、雑誌の順とし、各々の初めに◎・○を付して識別した。複数の場合は、刊行年月順とした。

(2) 記載の形式

下記の原則によって記載した。

1) 図書

◎書名一副書名／巻次／（著編者等）／出版者／刊行年月／総ページ数（叢書名）

なお、論集・図書の一部については以下のように記載した。

◎論題／（著者）／『書名一副書名』／（著編者等）／出版者／刊行年月

2) 雑誌の論文

○論題／著編者／「誌名」／発行者／巻（号）／発行年月／掲載ページ

5. 参考資料

主に以下のデータベースを参考にした。

BookPlus

JAPAN/MARC

MagazinePlus

【ア】

アアルト, アイノ Aalto, Aino

◎アイノとアルヴァーアアルト書簡集(アイノ・アアルト, アルヴァ・アアルト著, ヘイッキ・アアルト=アラネン著, 上山美保子訳) 草思社 2023.10 526,15p

アアルト, アルヴァ Aalto, Alvar

◎アイノとアルヴァーアアルト書簡集(アイノ・アアルト, アルヴァ・アアルト著, ヘイッキ・アアルト=アラネン著, 上山美保子訳) 草思社 2023.10 526,15p

○Dialogue Minä perhonen & Esa Vesmanen with Alvar Aalto/INTERVIEW 皆川明—アアルトの思いに寄り添いながら(皆川明, Hisako Kawakamitext, Makoto SuenagaPhotography) 「Switch」スイッチ・パブリッシング 43(1) 通号418 2025.1 p100~105

アイアス Aias

○ソボクレス「アイアス」におけるアイアスの負の側面の描写が持つ機能(岡田誠二)「哲学誌」東京都立大学哲学会(66) 2024 p55~78

艾未未 アイ・ウエイウェイ

◎艾未未アート「戦略」—アートが「政治」を超えるとき(宮本真左美著) 水声社 2023.6 556p

○中国現代アートにおける芸術表現の「光」と「影」: 蔡国強と艾未未の比較から(魏双斌)「広島市立大学芸術学部芸術学研究所紀要」広島市立大学芸術学部(26) 2025.3 p26~36

アイヴズ, チャールズ Ives, Charles

◎アイヴズを聴く—自国アメリカを愛した男(J.ピーター・パークホルダー著, 奥田恵二訳) アルテスパブリッシング 2024.9 543p

アイガー, ロバート Iger, Robert

◎ディズニーCEOが大切にしている10のこと(ロバート・アイガー著, 関美和訳) 早川書房 2023.4 427p(ハヤカワ文庫 NF 600)

アイグルハート, フロレンス Iglehart, Florence

○宣教師夫人の音楽活動: フロレンス・アイグルハートの場合(津上智実)「女性学評論」神戸女学院大学女性学インスティテュート(37) 2023.3 p153~178

愛新覚羅 頤琦 アイシンカクラ・ケンキ

◎随筆 清朝最後の王女愛新覚羅頤琦(中田竜彦)【目白大学外国語学部開設20周年記念論集】(外国語学部周年記念誌出版委員会編) 目白大学外国語学部 2025.2 p413

愛新覚羅 溥儀 アイシンカクラ・フギ

◎満洲国の双廟—ラストエンペラー溥儀と日本(鯉嶋井建著) 芙蓉書房出版 2023.8 267p

○溥儀が紫禁城を去った日: 1924年11月5日「清室優待条件」変更に合わせて(阿部由美子)「中国研究月報」中国研究所 78(11) 通号921 2024.11 p45~48

○中日リアリズム文学作品盗作訴訟をめぐる一考察: 「大地の子」事件と「末代皇帝の後半生」事件を例として(楊碩, 陳多友)「東ア

ジア文化研究」東アジア文化研究会(19) 2025.6 p145~163

アイズナー, ウィル Eisner, Will

○Will Eisner作“A Contract with God”の視覚的な語り: 1978年のグラフィックノベルにみる画文融合(松本隆)「清泉女子大学キリスト教文化研究所年報」清泉女子大学キリスト教文化研究所 33 2025 p67~92

アイズナー, E.W. Eisner, E.W.

○E.W.アイズナーの教育目標論の再検討(岡村亮佑)「京都大学大学院教育学研究科紀要」京都大学大学院教育学研究科(69) 2023 p109~122

○E. W. アイズナーのカリキュラム構成法: 「教育的想像力」概念に焦点を合わせて(岡村亮佑)「教育学研究」日本教育学会 90(3) 2023.9 p435~447

○E.W.アイズナーによる質的研究論の検討: Arts Based Researchへの展開過程に着目して(岡村亮佑)「京都大学大学院教育学研究科紀要」京都大学大学院教育学研究科(71) 2025 p1~14

アイスラー, ハンス Eisler, Hanns

○舞台音楽由来の組曲: ハンス・アイスラーの《「風呂」組曲》の場合(和田ちはる)「明治学院大学芸術学研究」明治学院大学芸術学会(34) 2024.7 p31~48

○政治的音楽再考: ハンス・アイスラーの《ドイツ交響曲》を例に(1)(和田ちはる)「明治学院大学芸術学研究」明治学院大学芸術学会(35) 2025.7 p51~66

アイゼンシュタイン Eisenstein, Ferdinand

○高次冪剰余相互法則の探究: クンマーの教論(第13回)アイゼンシュタインによる3次相互法則の証明(高瀬正仁)「現代数学」現代数学社 58(12) 通号708 2025.12 p60~66

アイゼンハワー Eisenhower, Dwight D.

◎冷戦とアイゼンハワー政権の宇宙政策(永井雄一郎著) 日本評論社 2023.3 253p

◎管理職が持つべき決断力—戦史の「韻」をつかめ(中原広著) 産経新聞出版 2024.4 207p

アイゼンベルグ

○振り返れば、風 パート2(62回)アイゼンベルグを追い(1)(森詠)「出版人・広告人」出版人 11(7) 通号124 2023.7 p124~127

○振り返れば、風 パート2(63回)アイゼンベルグを追い(2)(森詠)「出版人・広告人」出版人 11(8) 通号125 2023.8 p86~89

アイゼンマン, シャルル Eisenmann, Charles

◎シャルル・アイゼンマンの国家作用論(小島慎司著)【行政法の理論と実務—宇賀克也先生古稀記念】(斎藤誠, 山本隆司編) 有斐閣 2025.8 p75

アイソボス Aisōpos

◎寓話に生きた人イソップ—その人生と13の物語(イアン・レントラー文, パメラ・ザガレンスキー絵, 山下愛純訳) 化学同人 2023.2 63p

◎1日1話マンガでわかるイソップ寓話(廣川州伸監修) 宝島社 2023.4 63p(TJ MOOK)

◎文学の実効—精神に奇跡をもたらす25の発明(アンガス・フレッチャー著, 山田美明訳) CCCメディアハウス 2023.4 748p

○アーサー・ピナードと平和を考える朗読会: 「はくトリ」「やまなし」「イソップ」について(林伸一)「山口大学文学会誌」山口大学文学会 73 2023 p23~38

- 為永春水「絵入教訓近道」についての考察：『伊曾保物語』のパロディ（浜田幸子）『日本文学』 日本文学協会、ひつじ書房（発売）72(6) 2023.6 p23～32
- 近世印刷本イソップ集の本文と挿絵に関する一考察：1610年刊行ネヴェレ本を中心として（吉川斉）『成城文藝』 成城大学文学部 (263) 2023.12 p40～2
- 類似を発見する力を鍛える：『イソップ寓話集』四百七十一話の多読から絵本を作る授業（吉田大輔）『滋賀文教短期大学紀要』 滋賀文教短期大学 (26) 2024.3 p39～54
- 絵本 寓話に生きた人 イソップ：その人生と13の物語（特集 第56回 日本子どもの本研究会 全国大会報告 (1) 未来をひらく子どもと本：子どもの今を見つめ、ともに生きる明日を考える）『子どもの本棚：月刊書評誌』 日本子どもの本研究会 53(10) 通号672 2024.10 p26
- キリシタン資料は音読できたか：リーダー教科書としての天草版『伊曾保物語』『平家物語』（王仲子、斎藤達哉、金子里美）『人文科学年報』 専修大学人文科学研究所 (55) 2025 p11～22
- イソップ寓話「蟻と蟬/キリギリス」のパロディにみる風刺の眼差し：The Fables of Aesop and Others Translated into Human Natureと『絵入教訓近道』の挿絵比較を通して（大島結生）『国際日本学：文部科学省21世紀COEプログラム採択日本発信の国際日本学の構築研究成果報告集』 法政大学国際日本学研究所 (22) 2025.2 p193～220

アイディ, ダン Ihde, Don

- 文学教材における「聞くこと」を主題とした国語科授業実践の意義：アイディ「聴くことと声」を手がかりに（神林哲平）『学ぶと教えるの現象学研究』 バイディア出版 20 2023.2 p24～36
- デュエイにおけるきくことの諸様相の現象学的解明：アイディ「聴くことと声」を手がかりに（神林哲平）『学ぶと教えるの現象学研究』 バイディア出版 21 2025.2 p50～61

アイトル, テレングト Aitor, Telengut

- 主要業績（退職記念 テレングト・アイトル教授）『北海学園大学人文論集』 北海学園大学人文学部 (78) 2025.3 p16～33

アイヒマン, アドルフ Eichmann, Karl Adolf

- アイヒマンと日本人（山崎雅弘著） 祥伝社 2023.8 240p（祥伝社新書 684）
- 〈悪の凡庸さ〉を問い直す（野田大輔、小野寺拓也編著、香月恵里、百木漠、三浦隆宏、矢野久美子著） 大月書店 2023.9 205p
- エルサレム（以前）のアイヒマン：大量殺戮者の平穏な生活：アーレントの疑問に答える試み（香月恵里）『ナマール：港』 日本・ユダヤ文化研究会 (28) 2023 p3～14

アイヒンガー, イルゼ Aichinger, Ilse

- イルゼ・アイヒンガー初期短編におけるフォト・モンタージュ技法の影響について（渡辺徳夫先生 退職記念論文集）（真道杉）『桜文論叢』 日本大学法文学部機関誌編集委員会 111 2025.3 p37～61

アイメリッヒ, ニコラ Eymerich, Nicolas

- 魔女狩りと宗教裁判を巡って（その3）通説の見直しに関する研究：ニコラ・アイメリッヒ著の『審問官指針』仏訳の検討を中心に（ホルド、ド・ラクビエ）『国学院法政論叢』 国学院大学大学院 45 2024.2 p38～72

アイリスリ, アクラム Aylisli, Akram

- 故郷が故国になる/ならないとき：アゼルバイジャンの元人民作家アクラム・アイリスリの位置付け（堤緑華）『ロシア語ロシア文学研究』 日本ロシア文学会 (55) 2023 p107～128
- 故郷までの距離：アグラム・アイリスリと『愛郷』（堤緑華）『ロシア語ロシア文学研究』 日本ロシア文学会 (56) 2024 p71～92

アインシュタイン, アルベルト Einstein, Albert

- アインシュタインのことばと人生（新堂進監修）ポプラ社 2023.1 111p（心を強くする！ ビジュアル伝記 02）
- 絵と図でよくわかる相対性理論—時間と空間の謎を解き明かす（ニュートン編集部編著）ニュートンプレス 2023.3 141p（14歳からのニュートン超絵解本）
- 科学と国家と大量殺戮 物理学編—犯罪社会学講義（沢野雅樹著）言視舎 2023.11 319p
- 原初性に基づく知の錬成—アインシュタイン・戦争・ドヤ街生活圏（石塚正英著）社会評論社 2023.11 341p
- ノーベル賞受賞者列伝（講談社編、若林文高監修）講談社 2024. 2 191p（ぴかりか）
- 最強に面白い相対性理論（佐藤勝彦監修）ニュートンプレス 2024.3 194p（ニュートン超図解新書）
- なぜ重力は存在するのか—世界の「解像度」を上げる物理学超入門（野村泰紀著）マガジンハウス 2024.7 254p（マガジンハウス新書）
- アインシュタインの旅行日記—日本・パレスチナ・スペイン（アルバート・アインシュタイン著、ゼエブ・ローゼンクランツ編、峠上司訳）草思社 2024.8 398p（草思社文庫 A-4-1）
- 時空をこえた大発見！「宇宙のさざ波」を聞く—アインシュタインの予言を証明した科学者の物語（パトリシア・バルデスぶん、サラ・バラシオスえ、いわじょうよしひとやく）評論社 2025.1 [44p]（児童図書館・絵本の部屋）
- アインシュタイン—想像力で世界をかえた天才科学者（早野美智代文、ななはちほか絵、吉田直紀監修）Gakken 2025.6 143p（やさしく読めるビジュアル伝記 20巻）
- NHK3か月でマスターするアインシュタイン（小林晋平講師、日本放送協会、NHK出版編集）NHK出版 2025.7 143p（NHKテキスト おとなの学びシリーズ）
- 船上のフィジスト：アインシュタインと日本人外交官一家の交流（岡本拓司）『日本物理学会誌』 日本物理学会 78(2) 通号892 2023.2 p62,91～94
- 科学者の散歩道（第90回）量子力学の観測者に見るマッハ残照：アインシュタインとマッハの四つの時期（佐藤文隆）『現代思想』 青土社 51(3) 2023.3 p321～328
- 山本義隆『ボーアとアインシュタインに量子を読む：量子物理学の原理をめぐって』（みすず書房,2022）（伊藤憲二）『化学史研究：the journal of the Japanese Society for the History of Chemistry』 化学史学会 51(1) 通号186 2024 p42～46
- 一九一七年のカフカ：ボルツァーノとアインシュタインを参照して（総特集 カフカ：没後一〇〇年）（平野嘉彦）『現代思想』 青土社 51(17)（臨増）2024.1 p68～77
- アインシュタインと物理学：アインシュタインは何を恐れたか（特集 重力と量子力学）（米谷民明）『数理科学』 サイエンス社 62(1) 通号727 2024.1 p27～32
- アインシュタイン時空における事象の地平線（特集 曲線と曲面を考える）（山田澄生）『数理科学』 サイエンス社 62(2) 通号728 2024.2 p38～45
- Bibliotheca Japonica (314) アインシュタインの書、扁額（八木正自）『日本古書通信』 日本古書通信社 89(2) 通号1135 2024.2 p39
- ニュートン、ボルツマン、アインシュタイン：物理学がいどみつづける究極の謎 時間は存在するのか（野村泰紀）『Newton：graphic science magazine』 ニュートンプレス 44(3) 2024.3 p68～87
- アインシュタインが語ったことから中南米の技術者倫理は何を学べるか：1931年のカリフォルニア工科大学における講演から（杉原桂大）『技術倫理研究』 名古屋工業大学技術倫理研究会 22 2025 p19～28
- そして他のすべてを忘れよ：ヤルタ2.0時代の「1955年ラッセル＝アインシュタイン宣言」再考（原爆80年特集 足元から、そして、世界からの視点で考える）（太田育子）『広島国際研究』 広島市立大学国際学部・国際学研究科 31 2025 p1～7

アウア, マリエッタ Auer, Marietta

- 二つの近代と法体系：Marietta Auer,Der privatrechtliche Diskurs der Moderne第1部の紹介（川合全弘教授退職記念号）（耳野健二）『京都産業大学世界問題研究所紀要』 京都産業大学世界問題研究所 39 2024.3 p53～65

アヴィセンナ Avicenna

- 哲学がわかる中世哲学（ジョン・マレンボン著、周藤多紀訳）岩波書店 2023.5 189,31p
- トマス・アクィナスにおける知性的魂の作用と自存性：アヴィセンナとの比較を手がかりとして（芝元航平）『中世思想研究』 中世哲学会、知泉書館（発売）(65) 2023 p20～34

アヴィーチー Avicii

- ティームアヴィーチー・オフィシャルバイオグラフィ（モンズ・ムーセン著、よこのなな訳）青土社 2023.7 437p 図版32p

アーヴィン, アンドリュー Irvine, Andrew

- 第三の極地—エヴェレスト、その夢と死と謎（マーク・シノット著、古屋美登里訳） 並紀書房 2023.2 599p 図版16p（並紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 4-7）

アウエルバッハ Auerbach, Erich

- 対話（第4回）いま「戦争」を語ろうとする彼女ら・彼らにとって、アウエルバッハの『文学と戦争』とヴァージニア・ウルフの『三ギニー』は必読の書物であろうと考えます（創刊80周年カウントダウン号。）（運實重彦、工藤庸子）『群像』 講談社 80(10) 2025.10 p222～235

アウエルバハ, レオポルト Auerbach, Leopold

- ヴェルナー・ゾンバルトにおけるレオポルト・アウエルバハ：無記名証券の成立とユダヤ法との関連をめぐって（恒木健太郎）『社会科学年報』 専修大学社会科学研究所 (59) 2025 p145～166

アヴェロエス Averroës

- 哲学がわかる中世哲学（ジョン・マレンボン著、周藤多紀訳）岩波書店 2023.5 189,31p
- アルベルトゥス宇宙論におけるアヴェロエス受容（小林剛）『カルチュラル：明治学院大学教養教育センター紀要：The MGU journal of liberal arts studies』 明治学院大学教養教育センター 17(1) 2023 p25～41

アウグスティヌス Augustinus

- アウグスティヌスのキリスト論（浅井太郎著）サンパウロ 2023.4 497p
- アウグスティヌス—古くて新しい物語（柏木貴志著）教文館 2023.6 226,6p
- キリスト教思想史の諸時代 別巻1（金子晴勇著）ヨベル 2023. 9 266p（ヨベル新書 090 アウグスティヌスの靈性思想）
- キリスト教思想史の諸時代 別巻2（金子晴勇著）ヨベル 2024. 3 273p（ヨベル新書 093 アウグスティヌス『三位一体論』を読む）
- 道しるべ—古の師父たちにならう（谷隆一郎著）知泉書館 2024.3 269,11p
- 時間と死—不在と無のあいだで（中島義道著）筑摩書房 2024.6 222p（ちくま学芸文庫）
- 西田哲学「アウグスチヌスの三位一体論」を読む—共産主義マルクスの論理的不備を指摘する（浅井進三郎著）東京図書出版 2024.10 233p
- 397年のアウグスティヌス（柏木貴志著）神戸改革派神学校 2025.10 116 p（リフォームド・パンフレット 14）
- 魂の時間から人類の時間へ：『告白』11巻28章38節への注釈（小

- 沢隆之）『中世哲学研究』 京大中世哲学研究会 (42) 2023 p1～22
- アウグスティヌスと「哲学」の理念 (1)（荻野弘之）『哲学科紀要』 上智大学哲学科 (49) 2023 p1～17
- 詩編注解 (2) 詩編2編（田中光）『伝道と神学：教会と神学大学を結ぶ』 東京神学大学総合研究所 (13) 2023.3 p83～102
- アウグスティヌスの創世記解釈における天使の認識とその役割について（宮脇南帆）『聖心女子大学大学院論集』 聖心女子大学 45(1) 通号64 2023.7 p78～54
- 初期アウグスティヌスの教会論：Psalmus contra partem Donatiの翻訳と考察を通して（柏木貴志）『改革派神学』 神戸改革派神学校 (48) 2024 p89～124
- 『三位一体論』における神の似像の歪みの回復と神を認識することについて（小沢隆之）『中世思想研究』 中世哲学会、知泉書館（発売）(66) 2024 p5～20
- 近年のアウグスティヌス天使論研究—霊的質料と無形相性について（鈴木実佳）『Derek』 立教大学文学研究科組織神学専攻、立教大学大学院キリスト教学研究科 (43) 2024.12 p49～71
- アウグスティヌスと聖書翻訳：ヒエロニムスとの書簡から（石川知輝）『中世思想研究』 中世哲学会、知泉書館（発売）(67) 2025 p5～22
- アウグスティヌス『詩編注解』における比喩的解釈の諸相：『詩編九八（九七）』をめぐって（荻野弘之）『哲学科紀要』 上智大学哲学科 (51) 2025 p1～21
- アウグスティヌスの虚偽論：『ソリロクイア』における虚偽概念の変容（有賀雄大）『駒澤大学文化』 駒澤大学 (43) 2025.3 p27～51
- 伝道者アウグスティヌス：洗礼志願者に何を語ったのか（第53回教職セミナー（2025年1月7～9日））（本城仰太）『伝道と神学：教会と神学大学を結ぶ』 東京神学大学総合研究所 (15) 2025.3 p67～90
- 詩編注解 (3) 詩編3編（田中光）『伝道と神学：教会と神学大学を結ぶ』 東京神学大学総合研究所 (15) 2025.3 p137～142
- アウグスティヌスの自由意志概念とストア派の行為論の関係：ホルメーおよびプロアイレシス概念との比較（山田庄太郎）『宗教研究』 日本宗教学会 99(1) 通号412 2025.6 p1～24
- バスカルにおける希望と絶望：アウグスティヌスとモンテーニュの間（山上浩嗣）『思想』 岩波書店 (1215) 2025.7 p27～43

アウグスト August

- 「はかる」人たち ザクセン選帝侯アウグストの場合（ツィーマー宮田侑季）『伊能忠敬研究：史料と伊能図』 伊能忠敬研究会 (102) 2024 p55～59

アウグストゥス Augustus

- ウエレイウス『歴史』におけるアウグストゥスの歴史的位位置づけ：尊厳毀損罪の裁判によるカエサルの記憶の再構成との関連から（岡本幹生）『史林』 史学研究会 106(6) 通号562 2023. 11 p637～670
- 講演 アウグストゥス時代とは何だったのか：ローマ前期帝政の始まり？（島田誠）『学習院史学』 学習院大学史学会 (63) 2025.3 p101～106

アウスレンダー, ローゼ Ausländer, Rose

- ローゼ・アウスレンダーとギュンター・ターネルト：『信条』『信念の危機』『対話』その他の作品について（加藤丈雄）『西洋文学研究』 大谷大学西洋文学研究会 (42) 2023 p1～34
- 永遠の皆既日食：ローゼ・アウスレンダーの《ゲッター・モティーフ》について（加藤丈雄）『西洋文学研究』 大谷大学西洋文学研究会 (44) 2024 p1～38

アウトマン, ジェームズ Outman, James

- インタビュー ジェームズ・アウトマン（ドジャース/外野手）（2023年度版 Let！ Introduce myself）（ジェームズ・アウト

原 綴 索 引

Euler,Leonhard →オイラー,レオンハルト
 Euripides →エウリピデス
 Eustachius →エウスタキウス(聖人)
 Evanoff,Richard →エバノフ,リチャード
 Evans,Bill →エヴァンス,ビル
 Evans,Danielle →エヴァンズ,ダニエル
 Evans,Mal →エヴァンズ,マル
 Evans,Robert →エヴァンズ,ロバート
 Evans,Rod →エヴァンス,ロッド
 Evans,Ronald Mark →エバンス,ロナルド
 Ewing,K.D. →ユーイング,K.D.
 Ey,Henri →エー,アンリ
 Eymerich,Nicolas →アイメリッヒ,ニコラ

【 F 】

Fabbrini,Angelo →ファブリーニ,アンジェロ
 Fabre,Jean Henri →ファールブル,ジャン・アンリ
 Fadell,Tony →ファデル,トニー
 Falk,Peter →フォーク,ピーター
 Fanon,Frantz →ファノン,フランツ
 Faraday,Michael →ファラデー,マイケル
 Farber,Daniel →ファーバー,ダニエル
 Farmer,Philip José →ファーマー,フィリップ・ホセ
 Fauci,Anthony S. →ファウチ,アンソニー・S.
 Faulds,Henry →フォールズ,ヘンリー
 Faulkner,William →フォークナー,ウィリアム
 Fauré,Gabriel →フォーレ,ガブリエル
 Fay,Bernard →ファイ,ベルナルド
 Febvre,Lucien →フェーヴル,リュシアン
 Feldman,Morton →フェルドマン,モートン
 Félibien,André →フェリビアン,アンドレ
 Felipe II →フェリペ(2世)
 Felipe IV →フェリペ(4世)(スペイン国王)
 Feliu,Gaspar →フェリウ,ガスパール
 Fellini,Federico →フェリーニ,F.
 Fénéon,Félix →フェネオン,フェリックス
 Fenollosa,Ernest Francisco →フェノロサ,アーネスト
 Ferber,Edna →ファーバー,エドナ
 Ferenczi,Sandor →フェレンツイ
 Fermat →フェルマ
 Ferrari,Luc →フェラーリ,リュック
 Ferry,Luc →フェリー,リュック
 Fetis,Francois-Joseph →フェティス,フランソワ＝ジョゼフ

Feuchtwanger,Lion →フォイトヴァンガー,リオン
 Feuerbach,Ludwig →フォイエルバッハ,ルートヴィヒ
 Feuerbach,P.J.A. →フォイエルバッハ,P.J.A.
 Feynman,Richard Phillips →ファインマン,リチャード・フィリップス
 Fichte,Johann Gottlieb →フィヒテ,ヨーハン・ゴットリーブ
 Ficino →フィチーノ
 Fick,Nathaniel →フィック,ナサニエル
 Field,Patricia →フィールド,パトリシア
 Figuiet,Louis →フィギエ,ルイ
 Fillmore →フィルモア
 Fils-Aimé,Reggie →フィサメイ,レジエ
 Finch,Estella →フィンチ,エステラ
 Fincher,David →フィンチャー,デヴィッド
 Fink,Eugen →フィンク,オイゲン
 Fischer,Bobby →フィッシャー,ボビー
 Fischer-Dieskau,Dietrich →フィッシャー・ディースカウ,ディートリヒ
 Fish,Hamilton →フィッシュ,ハミルトン
 Fisher,Irving →フィッシャー,アーヴィング
 Fisher,Mark →フィッシャー,マーク
 Fisher,Robin Gaby →フィッシャー,ロビン・ギャビー
 Fitzgerald,Francis Scott Key →フィッツジェラルド,フランシス・スコット
 Fitzgerald,Penelope →フィッツジェラルド,ベネロピ
 Fitzpatrick,Sheila →フィッツパトリック,シェイラ
 Flaubert,Gustave →フローベール,ギュスターヴ
 Fleischer,Richard →フライシャー,リチャード
 Fletcher,David Owen →フレッチャー,デービッド
 Fletcher,John →フレッチャー,ジョン
 Flinn,Kathleen →フリン,キャスリーン
 Florenskii,Pavel Aleksandrovich →フロレンスキイ,パーヴェル・アレクサンドロヴィチ
 Florenz,Karl →フロレンツ,カール
 Flournoy,Michèle A. →フロノイ,ミシェル・A.
 Fludd,Robert →フラッド,ロバート
 Foer,Jonathan Safran →フォア,ジョナサン・サフラン
 Follett,Mary Parker →フォレット,M.P.
 Fontane,Theodor →フォンターネ,テオドル
 Ford →フォード
 Ford,Gerald Rudolph →フォード,ジェラルド
 Foreman,“Big” George →フォアマン,ジョージ
 Forster,Edward Morgan →フォースター,エドワード・モーガン
 Fortuny,Mariano →フォルチュニイ,マリアノ
 Foucault,Michel →フーコー,ミシェル

Fouche,Joseph →フーシェ,ジョゼフ
 Fourier,Charles →フーリエ,シャルル
 Fowles,John →ファウルズ,ジョン
 France,Anatole →フランス,アナトール
 Francesco d'Assisi,St. →フランチェスコ(アッシジの)
 Franchetti →フランケッティ
 Franciscus →フランシスコ(教皇)
 Franck,César Auguste Jean Guillaume Hubert →フランク,セザール
 Franco y Bahamonde,Francisco →フランコ,フランシスコ
 Frank,Anne →フランク,アンネ
 Frank,Bernard →フランク,ベルナルド
 Frank,Robert →フランク,ロバート
 Frankl,Viktor Emil →フランクル,ヴィクトル・エーミール
 Franklin,Benjamin →フランクリン,ベンジャミン
 Franz Ferdinand →フェルディナント,フランツ
 Fraser,Nancy →フレイザー,ナンシー
 Freeman,John →フリーマン,ジョン
 Freer,Charles Lang →フリーア,チャールズ・ラング
 Frege,Gottlob →フレーゲ,ゴットローブ
 Freinet,Célestin →フレネ,セレストン
 Freire,Paulo →フレイレ,パウロ
 Frémaux,Thierry →フレモー,ティエリ
 Freud,Sigmund →フロイト,ジークムント
 Freya,Ella →フレイヤ,エラ
 Fricsay,Ferenc →フリッチャイ,フェレンツ
 Fried,Michael →フリード,マイケル
 Friedman,Andrew →フリードマン,アンドリュー
 Friedman,Elizabeth Smith →フリードマン,エリザベス・スミス
 Friedman,Marty →フリードマン,マーティ
 Friedman,Milton →フリードマン,ミルトン
 Friedrich II →フリードリヒ(2世)
 Friedrich,Caspar David →フリードリヒ,カスパー・ダーヴィト
 Friedrich,Paul Otto →フリードリヒ,パウル
 Friel,Brian →フリール,ブライアン
 Frisch,Max →フリッシュ,マックス
 Fröbel,Friedrich →フレーベル,フリードリヒ
 Froberger →フローベルガー
 Frois,Luis →フロイス,ルイス
 Fromm,Erich →フロム,エーリヒ
 Frost,Robert Lee →フロスト,ロバート
 Frusciante,John →フルシアンテ,ジョン
 Frye,Northrop →フライ,ノースロップ
 Fuchs,Leonhart →フックス,L.
 Fuentes,Carlos →フエンテス,カルロス
 Fujimori,Alberto →フジモリ,アルベルト

Fukushima,Glen S. →フクシマ,グレン・S.
 Fukuyama,Francis Yoshihiro →フクヤマ,フランシス
 Fuller,Loie →フラー,ロイ
 Fuller,Margaret →フラー,マーガレット
 Fuller,Richard Buckminster →フラー,バックミンスター
 Fulton,Stephen,Jr. →フルトン,ステイブン
 Furtwängler,Wilhelm →フルトヴェングラー,ヴィルヘルム

【 G 】

Gabriel,Jacques →ガブリエル,ジャック
 Gabriel,Markus →ガブリエル,マルクス
 Gabriel,Peter →ガブリエル,ピーター
 Gadamer,Hans-Georg →ガダマー,ハンス＝ゲオルク
 Gaddafi →カダフィ大佐
 Gág,Wanda →ガアグ,ワンダ
 Gagarin,Ivan →ガガーリン,イヴァン
 Gagarin,Yuri Alekseyevich →ガガーリン,ユーリ
 Gagne,Patric →ガーニエ,パトリック
 Gagné,Robert Mills →ガニエ,ロバート・M.
 Gagnon,Séraphie →ガニオン,セラフィー
 Gaius Julius Caesar →カエサル
 Galanin,Nicholas →ガラニン,ニコラス
 Galēnos →ガレノス
 Galilei,Galileo →ガリレイ,ガリレオ
 Galilei,Vincenzo →ガリレイ,ヴィンチェンツォ
 Galison,Peter →ギャリソン,ピーター
 Gallagher,Mary E. →ギャラガー,メアリー・E.
 Galland,Antoine →ガラン,アントワーズ
 Gallé,Emile →ガレ,エミール
 Galois,Evariste →ガロア,エヴァリスト
 Galtung,Johan →ガルトゥング,ヨハン
 Galvez,Balvino →ガルベス,バルビーノ
 Gamal,Adam →ガマル,アダム
 Gamow,George →ガモフ
 Ganapati Sacchidaananda →ガナパティ・サッチダーナンダ
 Gandhi,Mahatma →ガンディー,マハトマ
 Ganesan,Narayanan →ガネサン,ナラヤナン
 Gañgeśa →ガンゲーシャ
 Gannett,Ruth Chrisman →ガネット,ルース・クリスマン
 Gannett,Ruth Stiles →ガネット,ルース・スタイルス
 Gao →ガオ

人物文献目録 2023-2025 Ⅱ 外国人編

2026年7月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

© Nichigai Associates, Inc. 2026

不許複製・禁無断転載

(中性紙北越淡クリームキンマリ使用)

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-3106-2

Printed in Japan, 2026

本書はデジタルデータを有償販売しております。
詳細はお問い合わせください。